

令和3年度 全国学力・学習状況調査
— 鈴鹿市の教科に関する調査結果概要 —



令和3年11月

鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課

目次

1	調査の目的	・・・・・・・・・・P	1
2	調査対象・実施校数・実施児童生徒数（本市）	・・・・・・・・・・P	1
3	調査日時・内容	・・・・・・・・・・P	1
4	調査結果の概要		
	（1） 本年度の平均正答率	・・・・・・・・・・P	2
	（2） 経年変化	・・・・・・・・・・P	3
5	各教科の調査結果		
	（1） 小学校 国語	・・・・・・・・・・P	5
	（2） 小学校 算数	・・・・・・・・・・P	6
	（3） 中学校 国語	・・・・・・・・・・P	7
	（4） 中学校 数学	・・・・・・・・・・P	8
6	各教科に関する質問紙調査の結果		
	（1） 小学校国語に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・・・P	9
	（2） 小学校算数に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・・・P1	1
	（3） 中学校国語に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・・・P1	3
	（4） 中学校数学に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・・・P1	5
	（5） 小中学校英語に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・・・P1	7

1 調査の目的

- 1 全国・学力学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、実施される。
- 2 市内すべての学校が、各児童生徒の学力や学習状況をより客観的に把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象学年（本市）

調査対象	調査（教科） 実施校数	実施児童生徒数	
		国語	算数 (数学)
小学校6年生	30校	1,708人	1,709人
中学校3年生	10校	1,732人	1,731人

3 調査日時・内容

<調査日時> 令和3年5月27日（木）

<調査内容>

- ・ 教科に関する調査（国語，算数・数学）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則として、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりになっている。

	国語		算数	
	小学校	◎言葉の特徴や使い方に関する事項	6問	◎数と計算
◎話すこと・聞くこと		3問	◎図形	3問
◎書くこと		2問	◎測定	3問
◎読むこと		3問	◎変化と関係	3問
			◎データの活用	5問
	国語		数学	
	◎話すこと・聞くこと	3問	◎数と式	5問
中学校	◎書くこと	3問	◎図形	4問
	◎読むこと	4問	◎関数	3問
	◎伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	4問	◎資料の活用	4問

・ 質問紙調査

児童生徒に対する質問紙調査	学校に対する質問紙調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

4 調査結果の概要

(1) 本年度の平均正答率

- 小学校，中学校ともに実施された全ての教科において，全国平均を下回った。

表1 令和3年度 平均正答率（小6） (%)

小6	国語	算数
鈴鹿市	64	70
三重県（公立）	64	69
全国（公立）	64.7	70.2

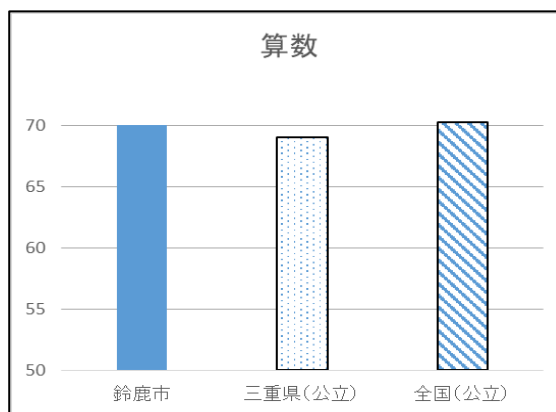
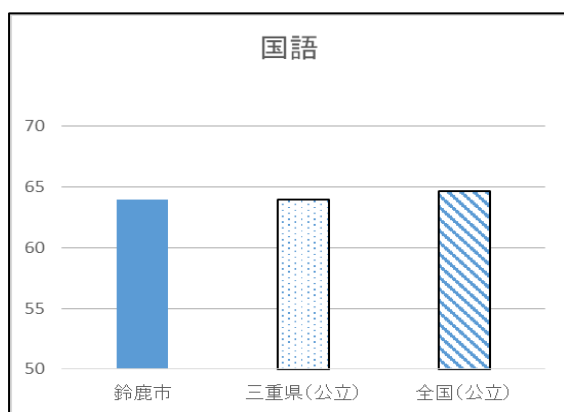
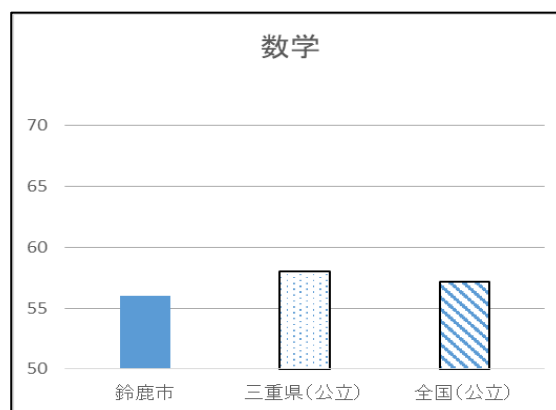
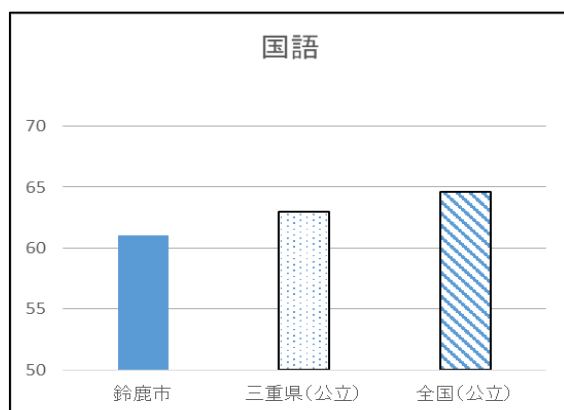


表2 令和3年度 平均正答率（中3） (%)

中3	国語	数学
鈴鹿市	61	56
三重県（公立）	63	58
全国（公立）	64.6	57.2



(2) 経年変化

- 小学校算数, 中学校数学では, 年々全国平均値との差が縮まってきている。
- 中学校では, 国語, 数学ともに平成 31 年度の結果より, 全国平均値との差を縮めたが, 依然差がある。
- 中学校国語は, 実施された教科の中で最も全国平均値との差が開いた教科である。

※市内の結果については, 平成 29 年度から整数値で公表されている。

※平成 31 年度から A 問題 (知識) と B 問題 (活用) が一体化されたため, 経年変化については, B 問題と比較検証している。

※令和 2 年度は, 新型コロナウイルス感染症にかかる学校教育への影響等を考慮し実施されなかった。

表 3 過去 5 か年の鈴鹿市と全国の平均正答率 (小 6) (%)

小学校		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		令和 3 年度	
		本市	全国	本市	全国	本市	全国	本市	全国	本市	全国
国語	A	68.7	72.9	73	74.8	70	70.7	64	63.8	64	64.7
	B	57.7	57.8	57	57.5	53	54.7				
算数	A	75.9	77.6	77	78.6	63	63.5	66	66.6	70	70.2
	B	46.4	47.2	44	45.9	50	51.5				
理科		—	—	—	—	58	60.3	—	—	—	—

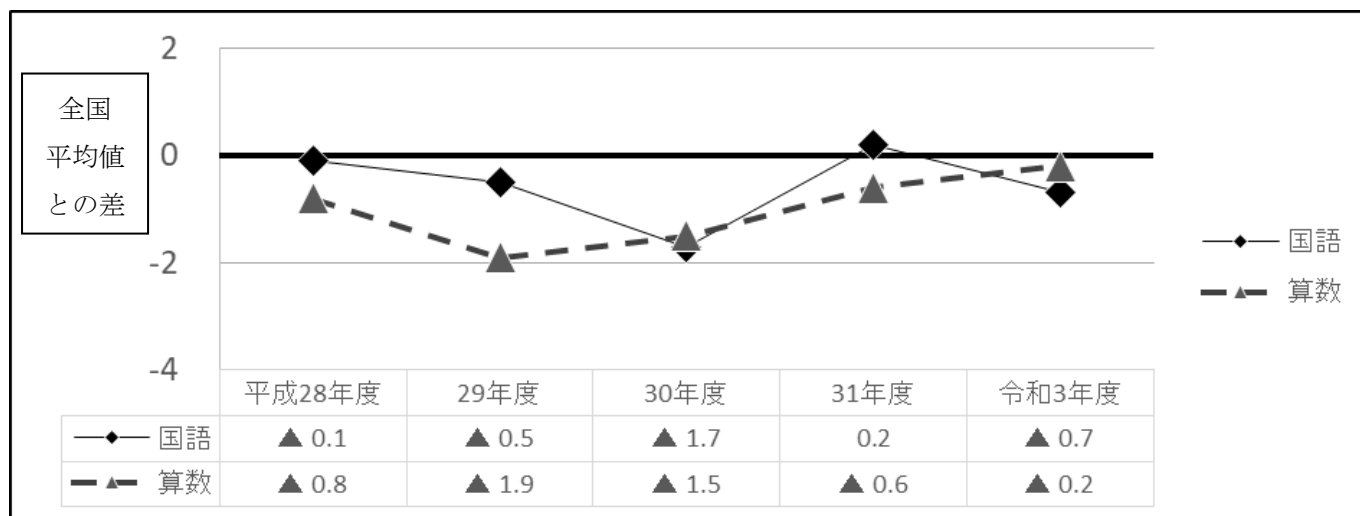


図 1 鈴鹿市と全国平均との差の経年変化 (小 6) (%)

表4 過去5か年の鈴鹿市と全国の平均正答率（中3）（％）

中学校		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和3年度	
		本市	全国	本市	全国	本市	全国	本市	全国	本市	全国
国語	A	72.7	75.6	76	77.4	74	76.1	69	72.8	61	64.6
	B	62.9	66.5	71	72.2	57	61.2				
数学	A	59.3	62.2	62	64.6	65	66.1	57	59.8	56	57.2
	B	41.1	44.1	45	48.1	43	46.9				
理科		—	—	—	—	65	66.1	—	—	—	—
英語		—	—	—	—	—	—	53	56.0	—	—

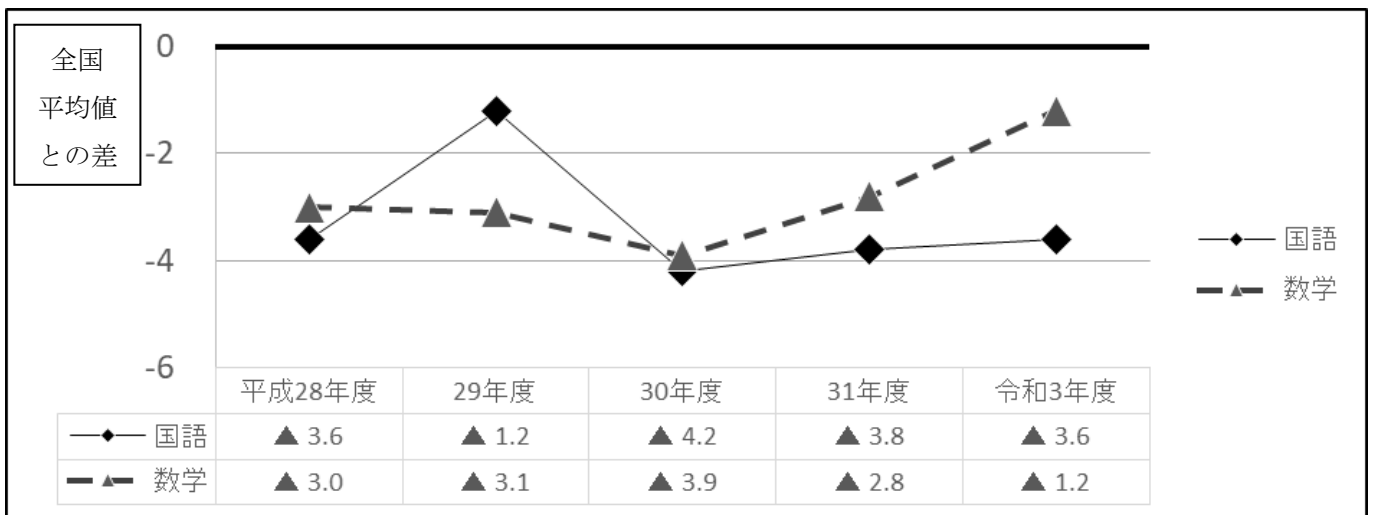


図2 鈴鹿市と全国平均との差の経年変化（中3）（％）

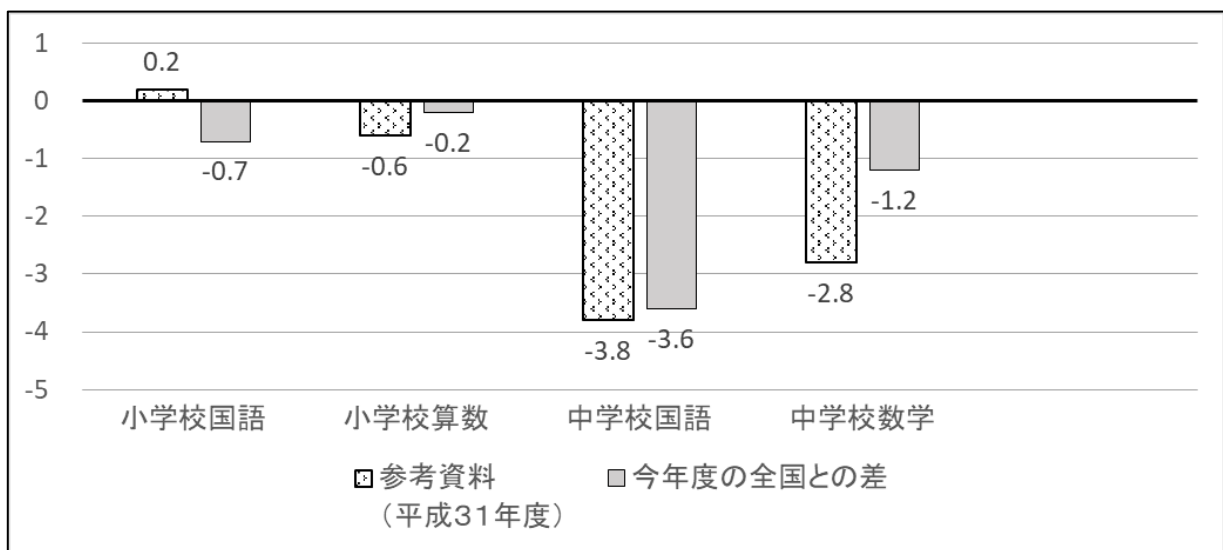


図3 平成31年度と今年度の鈴鹿市と全国平均との差（％）

5 各教科の調査結果

(1) 小学校 国語

※全国平均との比較について（H30は算数Bの結果のため、参考資料）

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」の領域において改善傾向にある。
- 「読むこと」の領域において、全国平均値を大きく下回った。
- 記述式の問題の平均正答率が、前回より大きく下回った。

表5 小学校国語における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）（％）

小学校国語		平成30年度			平成31年度			令和3年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
	全体	53.0	54.7	-1.7	64.0	63.8	0.2	64.0	64.7	-0.7
学習 指導要領 の領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項				52.5	53.5	-1.0	68.5	68.3	0.2
	話すこと・聞くこと	62.9	64.6	-1.7	72.2	72.3	-0.1	77.5	77.8	-0.3
	書くこと	44.1	45.6	-1.5	55.0	54.5	0.5	61.3	60.7	0.6
	読むこと	47.7	50.8	-3.1	82.2	81.7	0.5	44.0	47.2	-3.2
問題形式	選択式	65.8	67.6	-1.8	75.1	75.1	0.0	72.2	71.7	0.5
	短答式				47.6	48.7	-1.1	68.9	70.6	-1.7
	記述式	31.5	33.2	-1.7	58.1	57.6	0.5	37.9	40.2	-2.3

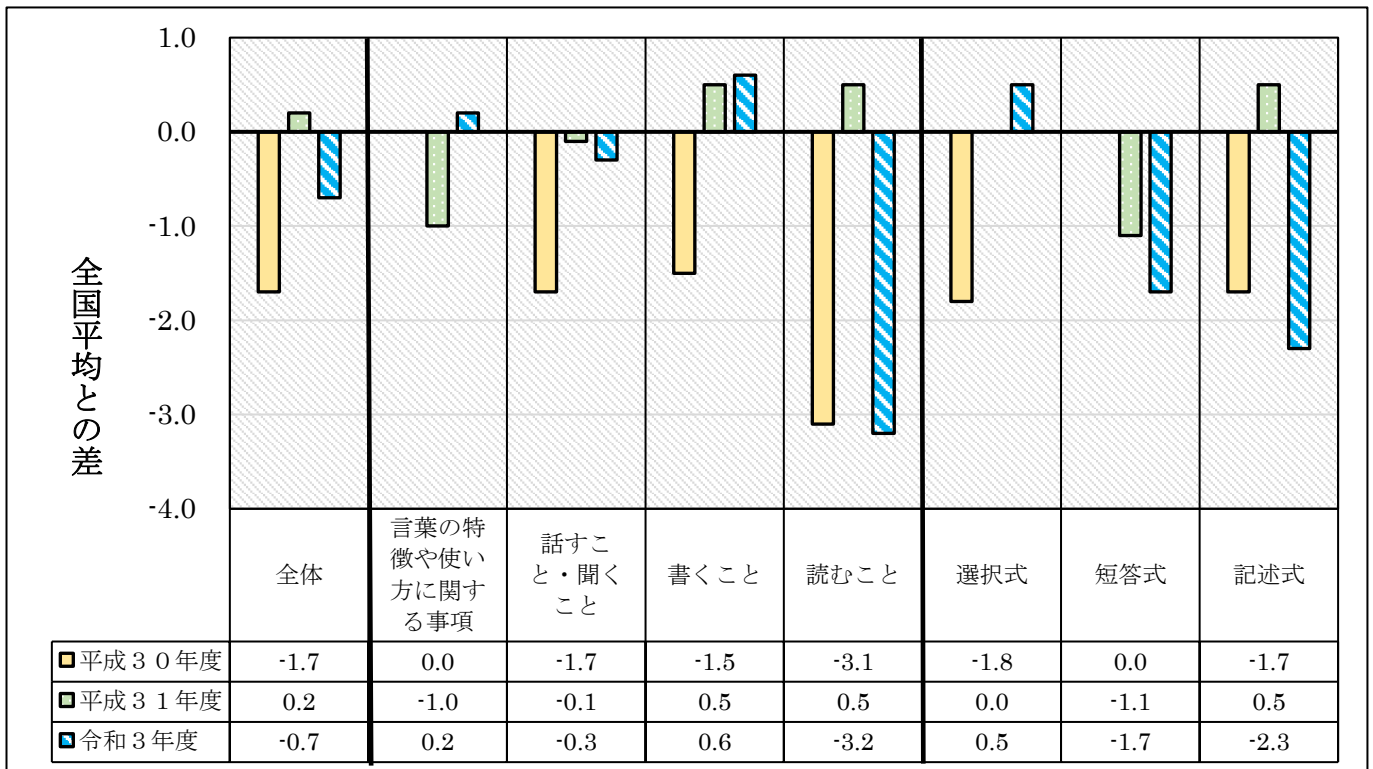


図4 小学校 国語（H30～R3 経年変化）（％）

(2) 小学校 算数

※全国平均との比較について（H30 は算数 B の結果のため、参考資料）

- 全体の平均正答率について、全国との差が縮まってきている。
- 記述式の問題について、改善傾向にある。
- 「データの活用」の領域について、全国平均値を上回った。
- 「図形」、「測定」、「変化と関係」の領域について、全国平均値を下回った。

表6 小学校算数における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）（％）

小学校算数		平成30年度			平成31年度			令和3年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
	全体	50.0	51.5	-1.5	66.0	66.6	-0.6	70.0	70.2	-0.2
学習 指導要領 の領域等	数と計算	56.2	58.4	-2.2	64.1	63.2	0.9	63.1	63.1	0.0
	図形	59.1	59.9	-0.8	76.2	76.7	-0.5	54.4	57.9	-3.5
	測定	50.2	52.4	-2.2	50.3	52.9	-2.6	74.0	74.8	-0.8
	変化と関係	43.0	45.1	-2.1	69.1	68.3	0.8	75.1	75.9	-0.8
	データの活用							76.7	76.0	0.7
問題形式	選択式	52.9	54.0	-1.1	74.7	75.7	-1.0	76.6	76.0	0.6
	短答式	65.2	66.6	-1.4	74.9	72.8	2.1	74.3	75.8	-1.5
	記述式	41.3	43.9	-2.6	45.4	47.4	-2.0	51.9	53.0	-1.1

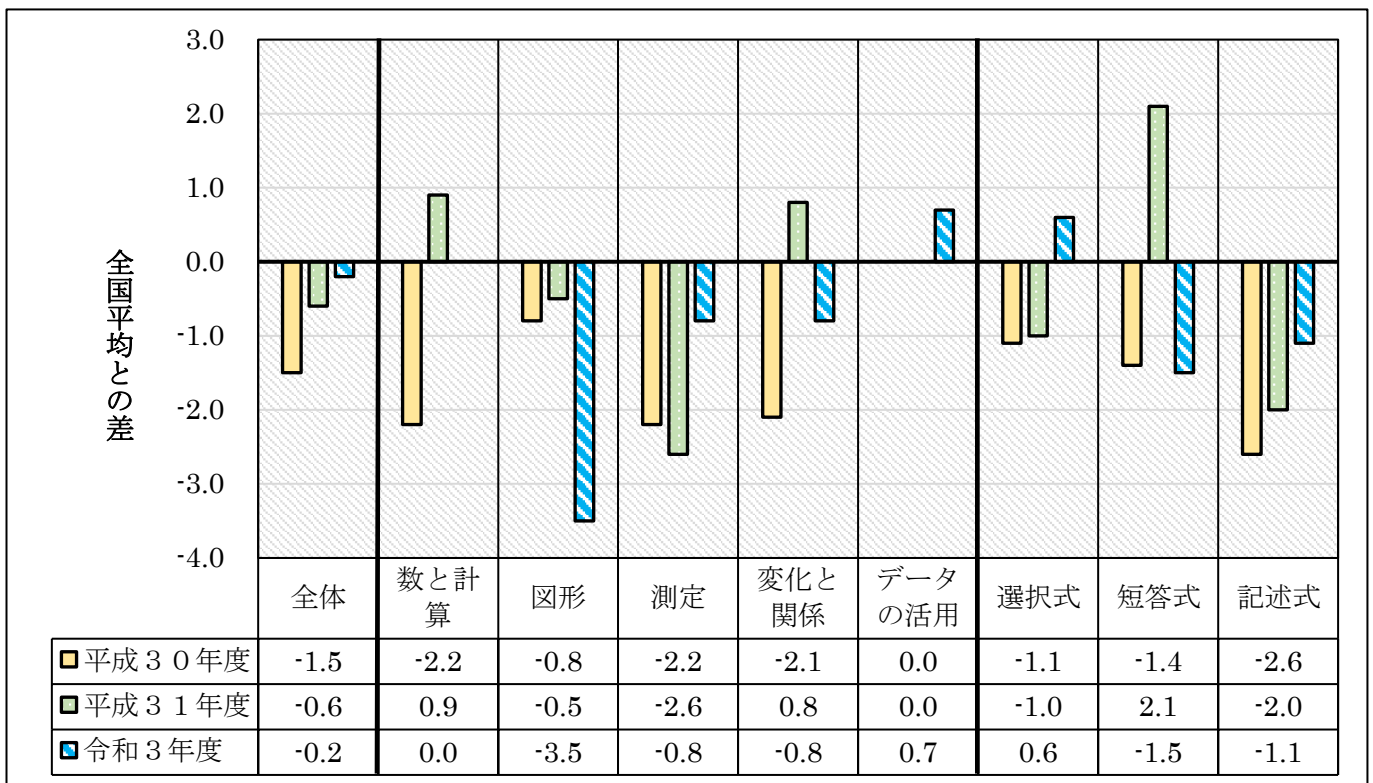


図5 小学校 算数（H30～R3 経年変化）（％）

(3) 中学校 国語

※全国平均との比較について（H30は国語Bの結果のため、参考資料）

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域について、全国平均値を下回るものの、昨年度より改善した。
- 全ての領域について、全国平均値を下回った。
- 「書くこと」の領域について、3年連続下降傾向にあり、全国平均値との差が大きく開いている。

表7 中学校国語における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）（%）

中学校国語		平成30年度			平成31年度			令和3年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
	全体	57.0	61.2	-4.2	69.0	72.8	-3.8	61.0	64.6	-3.6
学習 指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	71.8	76.6	-4.8	68.2	70.2	-2.0	77.3	79.8	-2.5
	書くこと	28.8	31.3	-2.5	78.8	82.6	-3.8	52.4	57.1	-4.7
	読むこと	50.2	53.5	-3.3	69.0	72.2	-3.2	44.3	48.5	-4.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	45.3	49.2	-3.9	62.3	67.7	-5.4	72.1	75.1	-3.0
問題形式	選択式	62.3	66.7	-4.4	70.0	73.6	-3.6	60.4	63.9	-3.5
	短答式				49.8	56.8	-7.0	72.1	74.4	-2.3
	記述式	47.6	50.3	-2.7	74.5	76.5	-2.0	51.1	56.0	-4.9

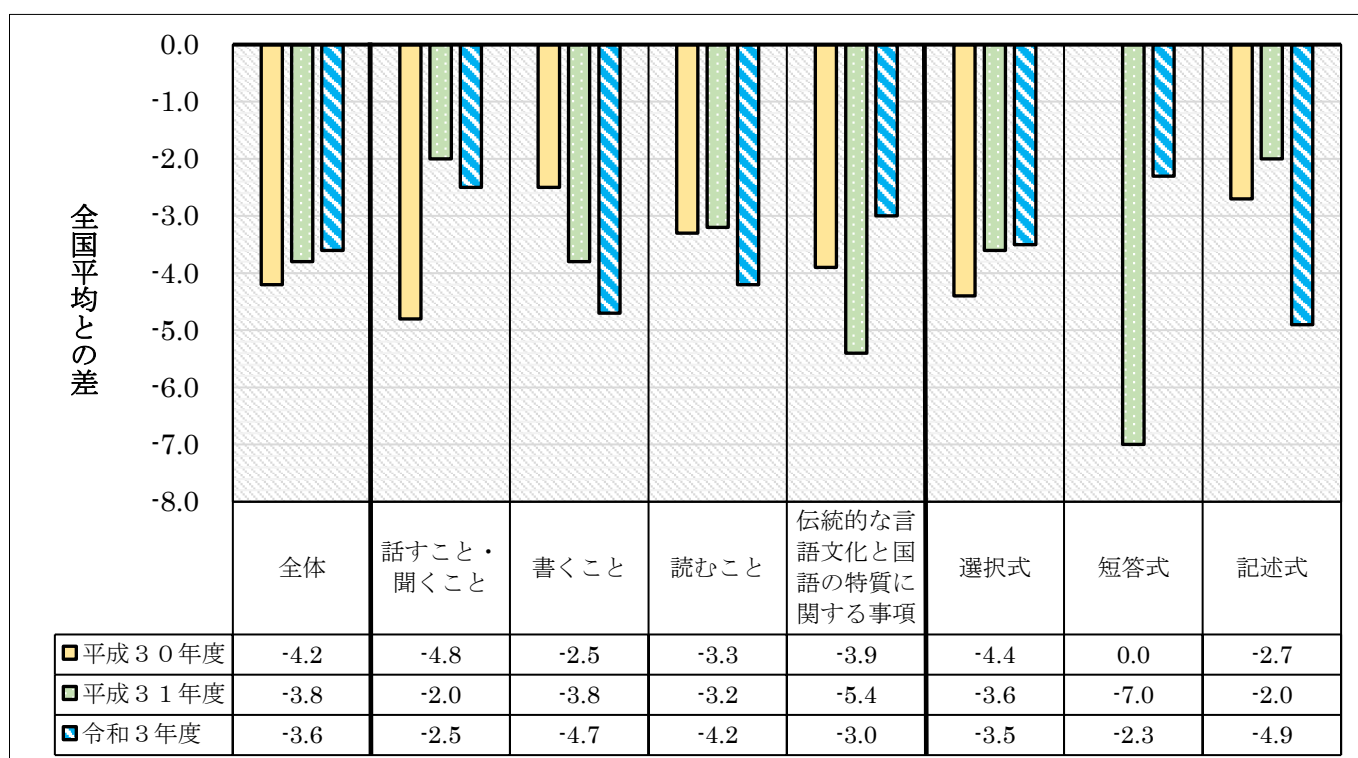


図6 中学校 国語（H30～R3 経年変化）（%）

(4) 中学校 数学

※全国平均との比較について（H30は数学Bの結果のため、参考資料）

- 全体の平均正答率について、全国平均値を下回っているが、一昨年度から徐々に改善傾向が見られる。
- 「資料の活用」の領域について、昨年度より改善し、全国平均値を上回った。
- 「数と式」「図形」の領域について、全国平均値を下回る結果が続いている。

表8 中学校数学における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）（％）

中学校数学		平成30年度			平成31年度			令和3年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
学習指導要領の領域等	全体	43.0	46.9	-3.9	57.0	59.8	-2.8	56.0	57.2	-1.2
	数と式	49.1	51.4	-2.3	58.6	63.8	-5.2	61.8	64.9	-3.1
	図形	42.2	46.7	-4.5	70.5	72.4	-1.9	48.9	51.4	-2.5
	関数	50.1	52.8	-2.7	41.2	40.8	0.4	55.7	56.4	-0.7
	資料の活用	32.2	38.0	-5.8	54.6	56.3	-1.7	54.7	53.8	0.9
問題形式	選択式	57.8	61.5	-3.7	57.6	60.3	-2.7	52.0	52.4	-0.4
	短答式	51.5	56.2	-4.7	64.1	66.6	-2.5	69.0	70.5	-1.5
	記述式	25.2	27.9	-2.7	45.1	47.1	-2.0	33.0	35.0	-2.0

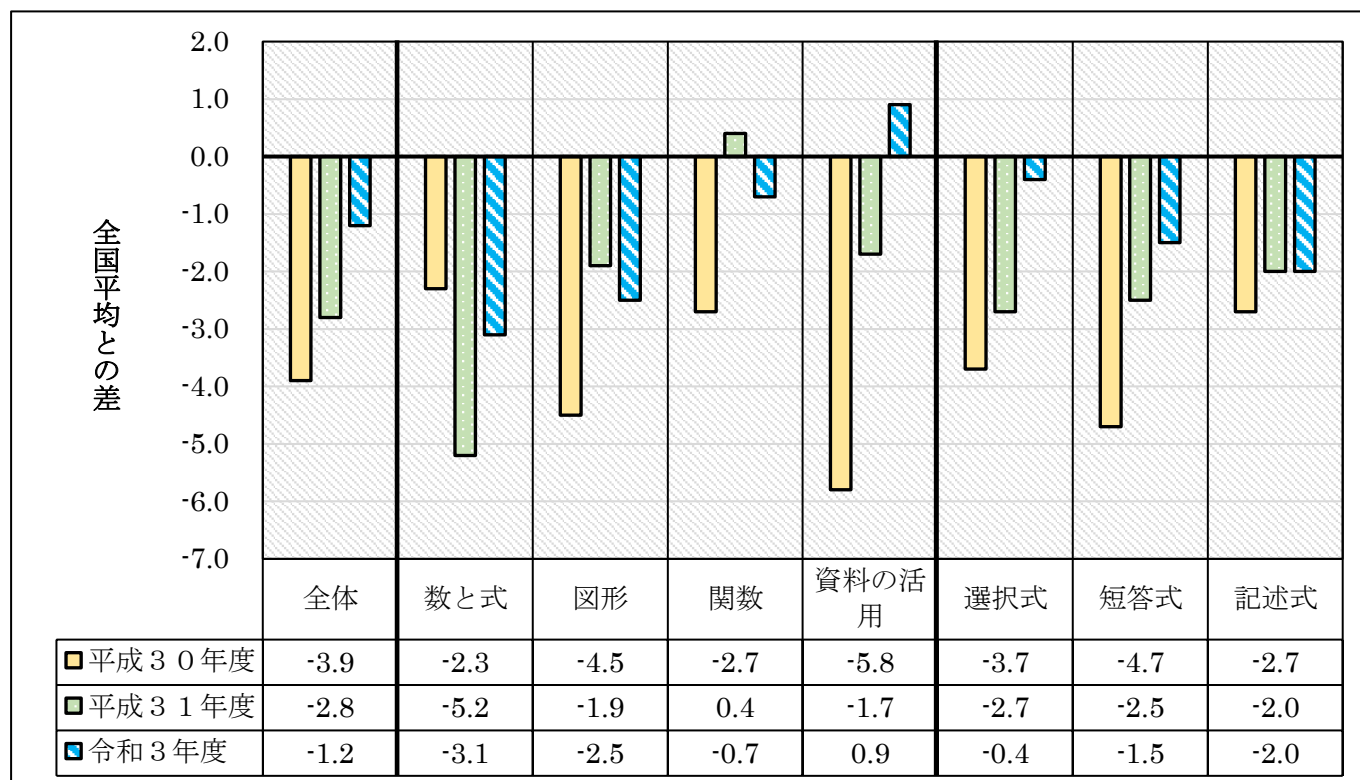


図7 中学校 数学（H30～R3 経年変化）（％）

6 各教科に関する質問紙調査の結果

本稿の見方

- * 質問文は、令和3年度調査を掲載。平成30、31年度とわずかに異なる文言の質問については、同質問と捉え、データを記載。
- * 肯定的回答とは、選択肢のうち「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」（または、それに類する選択肢）と回答したそれぞれの割合の合計を指す。
- * 課題とみなした質問項目について、各表の令和3年度の鈴鹿市の結果を□で囲む。
※肯定的回答の割合が70%未満か、70%以上であっても全国平均より5ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。
※質問によっては、実態を把握するにとどめ、課題として取り上げなかった項目もある。
- * 児童・生徒質問紙と学校質問紙の両方の結果を合わせ見て、校種・教科別に課題を記載。

(1) 小学校国語に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が70%未満か、70%以上であっても全国平均より5ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<児童質問紙調査>

- 国語の勉強が好きと回答している児童の割合
- 目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりすること
- 目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりすること
- 目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりすること

<学校質問紙調査>

- 前年度までに、発展的な学習の指導を行うこと

<児童質問紙調査及び学校質問紙調査>

- 児童質問紙 No. 47 から No. 50 と学校質問紙 No. 51 から No. 54 を比較すると、教師は授業改善が進んでいると捉えているのに対し、児童はそう感じている割合が低いこと

児童質問紙

表9 児童の「国語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合(%)

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
43	国語の勉強は好きですか	—	59.1	50.2	58.4	-8.2
44	国語の勉強は大切だと思いますか	—	92.0	93.3	93.2	+0.1

45	国語の授業の内容はよく分かりますか	—	84.4	81.1	84.2	-3.1
46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	—	90.6	91.2	91.8	-0.6
47	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか【新規】	—	—	80.8	82.2	-1.4
48	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか【新規】	—	—	58.9	63.8	-4.9
49	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか【新規】	—	—	67.3	71.3	-4.0
50	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり、自分の考えを広げたりしていますか【新規】	—	—	68.3	74.3	-6.0
51	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか（※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答）	—	80.3	80.6	81.3	-0.7

表 10 児童の「調査問題（国語）の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
68	解答時間は十分でしたか（国語）H30 以前は国語 B （※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答）	73.0	70.1	66.3	70.3	-4.0

学校質問紙

表 11 「国語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
49	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	—	83.4	83.3	85.4	-2.1
50	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	—	46.6	53.3	56.6	-3.3
51	前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか【新規】	—	—	93.3	91.4	+1.9
52	前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか【新規】	—	—	90.0	92.8	-2.8
53	前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか【新規】	—	—	93.3	89.6	+3.7
54	前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか【新規】	—	—	90.0	94.6	-4.6

(2) 小学校算数に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が70%未満か、70%以上であっても全国平均より5ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<児童質問紙調査>

- 算数の勉強が好きと回答している児童の割合
- 解答時間が十分だったと回答している児童の割合

<学校質問紙調査>

特に課題となる質問項目はない

児童質問紙

表 1 2 児童の「算数の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
52	算数の勉強は好きですか	64.7	71.0	68.7	67.8	+0.9
53	算数の勉強は大切だと思いますか	91.8	93.8	94.7	93.8	+0.9
54	算数の授業の内容はよく分かりますか	82.8	84.3	85.1	84.6	+0.5
55	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.3	92.9	93.1	92.6	+0.5
56	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.5	76.8	75.8	73.3	+2.5
57	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	78.9	79.8	83.4	82.7	+0.7
58	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか【新規】	—	—	88.0	89.0	-1.0
59	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか【新規】	—	—	92.7	91.9	+0.8
60	言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたか、どのように解答しましたか(※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答)	71.3	81.1	79.8	79.9	-0.1

表 1 3 児童の「調査問題(算数)の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
69	解答時間は十分でしたか(算数) H30 以前は算数 B (※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答)	66.0	79.8	73.2	81.7	-8.5

学校質問紙

表 1 4 「算数科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
55	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	96.6	96.7	96.6	94.6	+2.0
56	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	53.4	73.3	76.7	67.1	+9.6
57	前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	76.6	83.3	86.7	82.2	+4.5
58	前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形についての実感を伴った理解をする活動を行いましたか【新規】	—	—	93.3	91.9	+1.4
59	前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか【新規】	—	—	93.3	97.1	-3.8
60	前年度までに、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか【新規】	—	—	96.7	92.9	+3.8

(3) 中学校国語に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が 70%未満か、70%以上であっても全国平均より 5 ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<生徒質問紙調査>

- 国語の勉強が好きと回答している生徒の割合
- 目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりすること

<学校質問紙調査>

特に課題となる質問項目はない

<児童質問紙調査及び学校質問紙調査>

- 児童質問紙 No. 47 から No. 50 と学校質問紙 No. 51 から No. 54 を比較すると、教師は授業改善が進んでいると捉えているのに対し、児童はそのように感じている割合が低いこと

生徒質問紙

表 15 生徒の「国語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
43	国語の勉強は好きですか	—	64.4	62.2	60.8	+1.4
44	国語の勉強は大切だと思いますか	—	92.3	92.7	91.6	+1.1
45	国語の授業の内容はよく分かりますか	—	81.0	83.2	80.1	+3.1
46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	—	89.6	91.8	88.7	+3.1
47	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか【新規】	—	—	84.2	81.8	+2.4
48	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか【新規】	—	—	66.2	61.3	+4.9
49	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか【新規】	—	—	77.7	74.6	+3.1
50	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか【新規】	—	—	80.7	77.0	+3.7
51	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか(※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答)	—	78.8	74.5	73.7	+0.8

表 1 6 生徒の「調査問題（国語）の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
68	解答時間は十分でしたか（国語）H30 以前は国語 B （※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答）	82.0	87.8	73.5	75.3	-1.8

学校質問紙

表 1 7 「国語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
49	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	—	90.0	90.0	86.5	+3.5
50	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	—	60.0	80.0	72.9	+7.1
51	前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を 理解したり使ったりする授業を行いましたか【新規】	—	—	100.0	94.8	+5.2
52	前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必 要に応じて質問したりする授業を行いましたか【新規】	—	—	90.0	88.3	+1.7
53	前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるよ うに根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書い たりする授業を行いましたか【新規】	—	—	90.0	94.3	-4.3
54	前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈 して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いま したか【新規】	—	—	100.0	92.7	+7.3

(4) 中学校数学に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が70%未満か、70%以上であっても全国平均より5ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<生徒質問紙調査>

- 数学の勉強が好きと回答している生徒の割合
- 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えること
- 言葉や数、式を使って説明する問題で、最後まで解答を書こうと努力すること

<学校質問紙調査>

- 前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行うこと（小学校の学校質問紙 No. 58 と比較すると、中学校では大きく下がっている）

生徒質問紙

表 18 生徒の「数学の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
52	数学の勉強は好きですか	50.8	54.9	60.3	59.1	+1.2
53	数学の勉強は大切だと思いますか	81.2	83.8	84.3	84.1	+0.2
54	数学の授業の内容はよく分かりますか	71.3	72.5	74.2	74.6	-0.4
55	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.8	76.4	76.3	74.6	+1.7
56	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	43.8	—	51.0	50.6	+0.4
57	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	75.2	—	78.6	75.8	+2.8
58	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか【新規】	—	—	84.3	83.5	+0.8
59	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか【新規】	—	—	86.5	86.6	-0.1
60	言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか（※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答）	54.5	59.4	59.6	57.8	+1.8

19 生徒の「調査問題（数学）の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
69	解答時間は十分でしたか（数学）H30は数学B (※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答)	76.3	84.9	81.5	80.5	+1.0

学校質問紙

表20 「数学科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
55	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	100	80.0	90.0	92.7	-2.7
56	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	60.0	60.0	80.0	75.8	+4.2
57	前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	80.0	70.0	80.0	78.1	+1.9
58	前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか 【新規】	—	—	50.0	76.2	-26.2
59	前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか 【新規】	—	—	100.0	96.5	+3.5
60	前年度までに、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか 【新規】	—	—	90.0	89.5	+0.5

(5)英語に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が70%未満か、70%以上であっても全国平均より5ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<児童生徒質問紙調査>

- 英語の勉強が好きと回答している児童生徒の割合
- 学校の授業以外で英語を使う機会があると回答している児童生徒の割合
- 1, 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができたと回答している生徒の割合

<学校質問紙調査>

- 学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けること（小学校・学校質問紙）

<児童質問紙調査及び学校質問紙調査>

- 小学校、中学校ともに、児童質問紙 No. 62 と学校質問紙 No. 61 を比較すると、教師は授業改善が進んでいると捉えているのに対し、児童はそのように感じている割合が低いこと

児童質問紙（小学校）

表 2 1 児童の「英語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	HR3 全国 平均 との差
61	英語の勉強は好きですか	67.9	68.3	-0.4
62	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。	70.2	74.6	-4.4
63	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）	46.0	44.4	+1.6

学校質問紙（小学校）

表 2 2 「英語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
61	前年度までに、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか	93.3	93.5	-0.2
62	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けていますか	46.6	67.6	-21.0

生徒質問紙（中学校）

表 2 3 生徒の「英語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	H31 鈴鹿市	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
61	英語の勉強は好きですか	53.8	52.9	56.7	-3.8
62	1, 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。	—	68.1	67.7	+0.4
63	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）	—	33.3	34.9	-1.6

学校質問紙（中学校）

表 2 4 「英語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

R3 質問 番号	質 問	R3 鈴鹿市	R3 全国 (公立)	R3 全国 平均 との差
61	前年度までに、英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に組みましたか	90.0	93.3	-3.3
62	全国学力・学習状況調査の諸問題や結果を踏まえて、言語活動の充実などの授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善などの学習評価の改善に取り組んでいますか	100.0	88.4	+11.6

参考資料 H31 年度の生徒質問紙

表 2 5 生徒の「英語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

H31 質問 番号	質問	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
55	英語の勉強は大切だと思いますか	83.5	85.4	-1.9
56	英語の授業はよく分かりますか	66.0	66.0	0
57	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.4	85.4	-1.0
58	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか	31.1	33.8	-2.7
59	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	39.9	41.3	-1.4
60	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	79.0	79.2	-0.2
61	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	80.2	81.2	-1.0
62	1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	58.9	62.9	-4.0
63	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	57.1	77.2	-20.1
64	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	74.9	80.1	-5.2
65	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	74.0	77.4	-3.4
66	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	67.4	74.6	-7.2

参考資料 H31 年度の学校質問紙

表 2 6 「英語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

50	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	90.0	91.5	-1.5
51	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	60.0	75.4	-15.4
52	前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	100	87.2	+12.8
53	前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	100	90.9	+9.1
54	前年度までに、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	30.0	65.1	-35.1
55	前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	40.0	80.8	-40.8

56	前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行いましたか	100	87.6	+12.4
57	前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	70.0	62.4	+7.4
58	前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	60.0	63.5	-3.5
59	前年度までに、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか（※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答）	90.0	86.0	+4.0
60	前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか（※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答）	40.0	48.3	-8.3
61	年間の授業のうち、どのくらいの頻度でALT（外国語指導助手）を活用した授業を行いましたか（※「ほぼ毎回」「週に数回以上」と回答）	20.0	38.3	-18.3
62	英語担当教師とALT（外国語指導助手）との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか	100	93.4	+6.6